

事 務 連 絡

平成 22 年 9 月 6 日

各都道府県水道行政主管部局 担当者 殿

厚生労働省健康局水道課

熱中症による被害防止に向けた取組に関する情報提供について

水道行政の推進につきましては、日頃から格別の御協力をいただき御礼申し上げます。

厚生労働省健康局水道課では、「健康のため水を飲もう推進委員会」が提唱する「健康のため水を飲もう推進運動」の取組を後援する等、熱中症、脳梗塞、心筋梗塞の発症リスクを下げるための水分補給を心がけることについてこれまで啓発活動を行ってきました。

今般、厚生労働省では、熱中症による健康被害が数多く報告されていることを踏まえ、熱中症対策について、別添のとおり関係部局に対して協力をお願いしたところです。

貴職におかれましても、福祉担当部局等と連絡して、熱中症予防に関する取組として、水道利用者の方に水道水等水をこまめに摂取することが効果的であることを呼びかけていただくとともに、水道は人の飲用に適した水を供給していることについて周知徹底していただくようお願いいたします。

また、貴都道府県におかれては、貴管下の都道府県知事認可の水道事業者及び水道用水供給事業者に対して、本件を周知いただくようお願いいたします。

## 健康のため水を飲もう推進委員会

- ・熱中症、脳梗塞、心筋梗塞の発症リスクを下げるため、水を飲む普及啓発の取組を検討。

- ①こまめに水を飲む習慣の定着
- ②「運動中には水を飲まない」などの誤った常識をなくし、正しい健康情報を普及すること
- ③水道など身近にある水の大切さの再認識

により、子どもから高齢者までの広く国民一般の健康増進、疾病・事故予防に寄与することを目的として、平成19年4月に「健康のため水を飲もう推進委員会」（委員長：東京大学 武藤芳照教授）を組織。

水道事業者、医療機関、学校・教育機関、高野連、日本体育協会、日本水泳連盟の協力を得て、以下の取組を実施。

- 啓発ポスター等を作成。全国の水道事業者を經由して、医療機関、学校・教育機関、消防署、スポーツ団体などの協力を得て掲示。「水と健康の基本情報」とあわせて、厚生労働省ウェブページに掲載した。
- 高野連の協力を得て、全国高校野球地方大会でポスターを掲示。あわせて会場内で水分補給を呼びかけるアナウンスを実施。甲子園全国大会の試合中にバックスクリーンフリーボードでポスターを上映。
- 日本水泳連盟の協力により、全国の水泳場にポスター等を配布。あわせて、インターハイ及び国体では、競技の行われた屋外プールにおいて、水分をこまめに摂るようアナウンスを実施。

平成22年度にも以下の新たなポスターを作成し、関係機関に配布しているところ。

### 平成22年度版ポスターデザイン



デザインA



デザインB



デザインC

参考：健康のため水を飲もう推進運動

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/index.html>